

## 鳥取市スケートリンク検討委員会報告書（まとめ）

### （１）スケートリンクの整備に期待される効果

#### ① 健康増進・体力づくり

多様なスポーツ活動の機会を確保し、市民の健康増進、年々低下している子どもの体力向上が図れる。

#### ② 競技力向上

競技者の競技力の向上と競技人口の増加が図れる。

#### ③ レジャー

市民のレクリエーション活動の場として、レジャー感覚でアイススケートに親しむことができる。

#### ④ 経済波及

大会・競技会の開催や合宿・オリンピックキャンプ地としての誘致が見込め、市外からの交流人口の拡大とこれらに伴う経済波及効果が図れる。

以上を踏まえ、本委員会は、鳥取市にスケートリンクが必要であるという結論に至った。建設にあたっては次のことを配慮していただきたい。

### （２）建設方式について

#### ① スケートリンクの営業形態は、通年型とする。

#### ② メインリンクの規模は、公式規格（60m×30m）とする。

#### ③ サブリンクの併設が望ましい。規模はカーリング2レーン以上確保できれば、初心者用リンクとして兼用可能となる。

#### ④ 太陽光発電システムの導入が望ましい。国の電力買い取り制度と費用対効果を再度精査すること。

#### ⑤ 整備にあたっては、有利財源の活用及び運営方式と併せ最も適した方式を選定する。

#### ⑥ 整備場所は、用地取得の有無、用途地域、アクセス性等を総合的に検討し、最も適した場所を選定する。また、地上設置を基本とするが、立地によっては半地下設置も検討する。

### （３）持続可能な管理・運営方法について

#### ① 管理運営方式は、整備方式、サービス水準及びコスト比較により、スケートリンクに適した方式を選定する。現時点では、指定管理者制度の活用が望ましい。

#### ② 利用料金は、日本海リッチランドスケートリンク、近隣スケートリンクの利用料金及び鳥取市の社会体育施設の利用料金体系を参考に最も適した料金体系とする。

#### ③ 指導体制の充実や子どもから高齢者まで楽しめるよう工夫するなどの特徴を有することで他のスケートリンクとの差別化を図る。

### （４）鳥取県との連携

本市にスケートリンクが整備された場合、県内唯一のスケートリンクとして広く県民に親しまれる施設となること、スケート競技は、国民体育大会冬季大会の正式種目であり、県内競技者の競技力の向上が期待できること、鳥取県が平成26年度から展開する観光部門と連携したオリンピック・パラリンピックなどのキャンプ地誘致活動の一環として平昌オリンピックのキャンプ地誘致も可能となることから、鳥取県との連携を図ること。